

正 誤 表

「産科婦人科疾患最新の治療 2019-2021（第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
54	本文左段 11～14 行目	妊娠 26 週から 32 週の早産例で硫酸マグネシウムの総投与量が 50g 以下であれば神経学的異常の発症が抑制された。	妊娠 <u>28</u> 週から 32 週の早産例で硫酸マグネシウムの総投与量が 50g <u>未満</u> であれば神経学的異常の発症が抑制された。
207	本文右段最後の段落	治療は、経口ペニシリン剤が第一選択（世界的にはペニシリン筋注薬が推奨されているが国内では使用できない）。ペニシリン G は製造を中止しているため、代用として、AMPC（アモキシシリン）、ABPC（アンピシリン）を服用することが多い。	AMPC（アモキシシリン）内服が第一選択である。注射用ペニシリン G カリウム 20 万単位は点滴静注で使用可能であるが、筋注は保険適用がない（世界的にはペニシリン筋注が推奨）。なお、ベンジルペニシリンベンザチン水和物（バイシリン G）内服は 2016 年から 2019 年 1 月まで出荷調整と使用制限がされていたが、現在は解除され使用できるようになっている。
208	本文左段 15 行目	（現在、国内で製造中止している）	削除

2019 年 7 月 31 日

株式会社南江堂